

科目区分	基礎科目	科目名	韓国語		科目コード	18Y160	担当者	金 英泰				
対象学生	幼児教育学科 2年生		学期区分	通年	単位数	2	担当形態	単独				
科目			施行規則に定める科目区分又は事項等				卒業要件	選択必修				
							免許・資格要件					
科目の主題							学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
1. ハングル（韓国語）に親しくなり、読み方、書き方、発音、文法の基礎を学ぶ。ヒアリング・会話能力を習得する。 2. パソコン上で韓国語の文字入力およびインターネット検索ができるように学ぶ。							1. 「 尽心 」 誠実な人柄と人間力	2. 「 創造 」 高度な知性と創造力	3. 「 実践 」 明確な意思と実践力			
科目の到達目標							① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 思考・表現・判断力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	ハングルを読む、書く、聞く、話すことができるようになる。						○	◎	◎	◎	△	△
2.	ハングルによる基本的ITリテラシーを身につける。											
3.	授業を通じて、韓国文化を学びながら国際的なコミュニケーション能力を高める。											
4.							○	◎	◎	◎	△	△
5.							成績評価の方法と割合					
授業方法							受講態度（60%） 提出物（20%） 臨時試験（20%）					
授業方法は講義・演習・グループワーク、プレゼンテーション等を用いて行う。												
準備学修							課題等への対応					
授業の進行に合わせ、テキストを事前学習しておくこと、また、課題学習については指定した期日に必ず提出すること。授業時間30時間に対して、自主学修は60時間（予習30時間、復習30時間）である。							学生から提出された課題については、コメントをつけて返却する。					
授業計画												
第1回	オリエンテーション、ハングル文字のしくみ				第16回	ハングルの文法・文型						
第2回	ハングル文字の基本と発音				第17回	ハングルの文法・文型						
第3回	ハングル文字の基本と発音				第18回	ハングルの文法・文型						
第4回	ハングル文字の基本と発音				第19回	ハングルの文法・文型						
第5回	ハングル文字の基本と発音				第20回	文型の応用						
第6回	ハングルの基本文法（テキスト用）				第21回	ハングルの文法・文型						
第7回	ハングルの基本文法				第22回	文型の応用						
第8回	韓国文化に関するDVD鑑賞など				第23回	韓国のDVD鑑賞（ヒアリング学習）						
第9回	文章読解の基礎				第24回	文章読解						
第10回	文章読解の基礎				第25回	文章読解						
第11回	パソコンを用いたハングル入力方法				第26回	基本文型の応用を用いた会話						
第12回	ハングルメールの書き方				第27回	基本文型の応用を用いた会話						
第13回	ハングル会話の初歩				第28回	基本文型の応用を用いた会話						
第14回	ハングル会話の初歩				第29回	基本文型の応用を用いた会話						
第15回	韓国のDVD鑑賞（ヒアリング学習）				第30回	韓国のDVD鑑賞（ヒアリング学習）						
試験	実施しない											
教科書	基礎から学ぶ韓国語講座（初級） 木内明著 国書刊行会				受講生へのメッセージ	外国語の学びは、地道な勉強が必要です。予習や復習をしっかりと行って下さい。やればできるという自信をもつこと。そうすれば、楽しくなってきます。実践的な韓国語を楽しく学んでいきましょう。ハングルを学びながら、パソコンでの入力方法も練習します。						
参考書等												